

平成22年度 第2回学校評議員会報告

長野県須坂園芸高等学校

I 日 時 平成22年11月19日(金) 10時20分～15時00分

II 場 所 須坂市文化会館(メセナホール)・須坂園芸高等学校

III 日 程

- 1 収穫祝参観(メセナホール) 式典・生徒発表 10時20分～12時10分
会食(本校校長室) 12時40分～13時10分
 - ・メセナホールでの地域開放型の収穫祝(今年度の新たな取り組み)にご来賓として出席していただき、農業教育における成果や生徒の様子を参観していただいた。
また、学校に戻ってから本校収穫物による赤飯・豚汁・リンゴなどで会食を行った。
- 2 学校評議員会(会議室) 13時30分～15時00分
 - ・生徒を交えての懇談会(約40分)と定例の学校評議員会に分けて実施した。

IV 内 容

1 生徒を交えての懇談会

- (1) 参加者 評議員7名、生徒6名、職員9名
- (2) 評議員から生徒への質問事項
 - ①いじめについて(群馬県での関連事件にうけて) ②ケータイを持つ理由は何か
 - ③友達や親から言われたくないこと、言ってほしいことは何か。 ④地域で生きることについて
 - ⑤高校再編、特に本校と須坂商業高校との統合について

2 定例学校評議員会

(1) 次第

- ①開会 ②学校長挨拶 ③農場報告 ④学校評価(中間報告) ⑤アンケート報告 ⑥進路報告 ⑦意見交換 ⑧今後の予定 ⑨学校長より謝辞 ⑩閉会

(2) 意見交換(評議員の方からいただいたご意見・質問)

- ・収穫祝において生徒の活動発表を見せていただいたが、非常によくできていて感心した。
- ・試験場に研修に来る生徒の感想を聞くことができよかった。

- ・収穫祝はすばらしかった。自分も卒業生の一人だが、今の生徒たちはたいへん頑張っている。
- ・収穫祝の生徒発表を見て、特にプレゼンテーションの力がすばらしいと感じた。コミュニケーションの力は小・中学校からもっとつけなければと痛感している。異年齢交流の大切さを強く感じる中、地域交流をさかんに行っている園芸高校はよく生徒を育てていると思う。
- ・生徒発表はよくできていてびっくりした。子どもたちはよく頑張っているし、自分のことや将来のことをよく考えていると思う。
- ・就職が厳しいといわれているが、他校の就職状況は把握しているか。(質問)
(進路指導主事が把握している範囲で回答、また県内高校生の状況を説明)
- ・子どもたちの持っている自由な発想を教育現場で生かして行ってほしい。統合は決まっているがネガティブに考えるのではなく、自由な発想で前向きに進めてぜひ良い学校をつくってほしい。
- ・園芸高校の生徒には、地域で活躍できる人材として頑張ってもらいたい。

3 成果と課題

- (1) 収穫祝(式典・生徒発表及び会食)を通して、本校の教育活動についてご理解いただくことができた。
- (2) 生徒を交えての懇談会では生徒6名が出席し、評議員に生の声を聞いていただくことで生徒の様子をわかっていただくことができた
- (3) 評議員からの意見やアンケートを通して、本校がどのような評価をいただいているのか、何を期待されているのか、その一端を感じ取ることができた。

4 今後の予定について

- ・第3回 2月24日(木) 年間まとめ